

Kanon

カノン

発行：2023.1.10

新年の お慶びを 申し上げます



地球温暖化による気候変動のための自然災害、ロシアによるウクライナ侵攻をはじめとする各地での紛争、そして未だ収まらないコロナ感染……世界は大きな岐路に立たされている状況です。合唱界が少しずつ活気を取り戻した昨年、“Living together & Peace”を願う合唱が世界中から、そして神奈川県からも聴こえてきました。合唱文化は、継続的に人々が集まり話し合う機会を提供し、共通認識を生み出していきます。ユースの眼を世界に向けることもできますし、シニアの方々の叡智を次世代へと伝えていく場ともなります。バルト三国が「歌の祭典」によって民族意識を高め独立を勝ち取ったことは有名な話です。今、悲しみの中にある方々に寄り添い共感し、平和を願う心を世界に広げていくことは合唱界の大きな役目ではないかと考えます。

2018年、神奈川県合唱連盟の加盟団体は319団体でしたが、現在253団体にまで数を減らしています。ご自分のもとより家族のために練習に参加できない、練習場所や活動時間の制限により合唱から遠ざかっているなど理由は様々ですが、合唱離れは未だ食い止めることができません。収入不足を補うため、各行事のスタッフ数の削減、事務所経費の節約、神奈川県連内での講師依頼、皆様には申し訳ないことですが参加費の値上げなどにも踏み切り、ようやく全ての行事の収支が安定してまいりました。実行委員会の皆様、スタッフの方々の並々ならぬ努力の結晶でございます。

COVID19の大きな犠牲の上に日本社会が得た財産とも言えるITリテラシーも神奈川県連で普及し、Webの活用によって様々な経費削減が進んでいます。先に述べたバルト三国はIT大国です。たとえ領土を奪われたとしてもバーチャル空間に国民の電子データが保存されていれば国家は維持されているという理念のもとに、老若男女、全国民がITを使いこなしています。日本は差し迫った危機的状況にあるわけではありませんが、引き続き、Webを利用し県連の行事が円滑に進みますようご協力をお願いいたします。

このような中で、昨年10月には「第77回関東合唱コンクール大学職場一般部門」が相模女子大学グリーンホールにて開催され、各県の合唱団の熱い闘いが繰り広げられました。ご協力いただきました皆様方に深く感謝申し上げます。また、3月には「2023こどもコーラス・フェスティバルin茅ヶ崎（第35回少年少女合唱祭全国大会／第41回神奈川県ジュニア合唱祭）」を神奈川県連が主管いたします。県外から9団体、そして神奈川県のジュニア11団体が茅ヶ崎市民文化会館にて集います。皆様、ジュニアの応援に、是非ご来場いただきますようお願いしております。

2023年、マスクを外し満面の笑顔で合唱することができすように、再び合唱界に多くの方々が戻っていらっしゃいますように……。神奈川県合唱連盟に所属するすべての皆様とご家族の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

神奈川県合唱連盟 副理事長 佐藤 美紀子

◆第77回関東合唱コンクール(第75回全日本合唱コンクール関東支部大会)

第77回関東合唱コンクールは、中学校、高等学校部門が9月17日(土)18日(日)りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館(新潟県)にて、大学職場一般部門は神奈川県合唱連盟の主管により、10月9日(日)相模女子大学グリーンホール(神奈川県)にて開催されました。

大学職場一般部門は関東各県より34団体が参加、今年度は感染対策を取りながらも有観客でのコンクールが戻ってきました。マスクを外した生き生きとした表情や会場の温かい拍手が、運営する側にとっても大変励みとなりました。

本県出場団体の審査結果は以下の通りです。(賞ごとに出演順)

【中学校・高等学校部門】

高等学校部門 Aグループ

金賞 清泉女学院高等学校音楽部 (代表)
日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ
神奈川県立海老名高等学校合唱部

高等学校部門 Bグループ

銅賞 神奈川県立湘南高等学校合唱部
桐光学園高等学校合唱部

中学校部門 混声合唱の部

金賞 横浜国立大学教育学部附属鎌倉中学校

中学校部門 同声合唱の部

金賞 清泉女学院中学校音楽部 (代表) [関東支部長賞]
銀賞 神奈川学園中学校女声合唱団
銅賞 海老名市立今泉中学校



【大学職場一般部門】

大学職場一般部門・大学ユースの部

金賞 湘南ユースクワイア(代表)

大学職場一般部門・室内合唱の部

銅賞 Healing Friends

大学職場一般部門・同声合唱の部

金賞 La Pura Fuente(代表)
[関東支部長賞][全日本理事長賞]
銀賞 湘南はまゆう
緑フラウエンコール

◆第75回全日本合唱コンクール全国大会

第75回全日本合唱コンクール全国大会は、10月29日(土)30日(日)に中学校・高等学校部門がリンクステーションホール青森(青森県)にて、小学校部門が11月13日(日)にフェニーチェ堺(大阪府)にて、大学職場一般部門が11月19日(土)20日(日)に三重県文化会館(三重県)にて開催されました。

本県出場団体の審査結果は以下の通りです。(賞ごとに出演順)

【中学校・高等学校部門】

高等学校部門 Aグループ

銅賞 清泉女学院高等学校音楽部

中学校部門 同声合唱の部

金賞 清泉女学院中学校音楽部

【小学校部門】(第4回全日本小学校合唱コンクール全国大会)

金賞 川崎市立坂戸小学校合唱団

【大学職場一般部門】

大学職場一般部門・大学ユースの部

金賞 湘南ユースクワイア[日本放送協会賞]

大学職場一般部門・同声合唱の部

金賞 La Pura Fuente[文部科学大臣賞]全国シード

◆お詫びと訂正 カノン119号(p3)第45回おかあさんコーラス関東支部大会の報告記事に於きまして、優良賞受賞団体のご紹介に、アンサンブルMIMIのお名前が漏れておりました。大変申し訳ございませんでした。お詫びいたします。



緊迫する国際情勢と地球環境問題、今年度はこの大きな課題に向き合い、“Living together & peace”の願いを全国の皆様にお届けしたいと心合わせて練習を続けました。感染予防対策を徹底的に講じながらの日々でしたが、県大会から全国大会まで全員が揃って参加できた大会はなく、昨年度以上にコロナ対策の難しさを感じた年でした。高校生の自由曲は、Levente Gyöngyösi作曲の“Laudate pueri Dominum”とRihards Dubra作曲“Laudate…”,不安な社会状況の中、柔軟で躍動感あふれる音楽を身体いっぱい表現し、皆様にも一緒に楽しんでいただきたと選んだ曲でした。ハンガリーの民族音楽のリズムに乗せた

ボディーパーカッションには自信があったのですが、出発前日に体調不良者が出てしまい21人での演奏。結果は銅賞とちよびり残念がっていましたが、3年ぶりにマスクを外して満面の笑顔で歌えたことは、何よりも嬉しいことだったと思います。4月には辿々しいラテン語で歌っていた中学生も、基礎トレーニングに励んだ結果、NHKコンクールで歌った2曲も含め、変化に富んだ4曲を表現する力を身につけることができました。悲しみの淵にある方に心寄り添い三群に分かれて、松下耕作曲“Dona nobis pacem (我らに平和を)”,マリア様の幸せの光が降り注ぐようにと北欧の新進作曲家Arnesen作曲の“Ave Regina caelorum”を祈りを込めて歌い金賞受賞、大喜びの表彰式の夜でした。コンクールの翌日はお楽しみのお青森見学。紅葉の奥入瀬渓谷で3ヶ月間の緊張感をほぐし、三内丸山遺跡では縄文時代の人々の生活に思いを馳せる時を過ごしました。3年ぶりに青森市周辺の宿泊施設が満室となったということで、青森の方々から心からのおもてなしをいただいた4日間でした。全国大会の晴れの舞台で中学、高校そしてOGの三団体が、清泉サウンドを響かせることができたことは最高の喜び、今年も恵み深い一年であったと感謝の念でいっぱいです。合唱連盟の皆様、神奈川県の方々の温かな応援に心より感謝申し上げます。



清泉女学院中学高等学校音楽部 顧問 佐藤 美紀子



三重県で行われた今年度の全国大会にて、La Pura Fuenteは同声合唱部門に出場し、金賞並びに文部科学大臣賞を頂くことができました。今回の自由曲は「平和を求める祈り」をテーマに、1曲目では聖母マリアの慈愛に満ちた“Ave Regina Caelorum”を、2曲目では打楽器のタムタムを加え、激しくリズムカルな“Da pacem Domine”を祈りの気持ちを込めて演奏いたしました。また、衣装には不安な情勢にあるウクライナの人々に思いを馳せ、国旗を想起させるブルーを取り入れました。全国大会では、約3年ぶりにマスクを外し、団員の顔を見ながら演奏しました。表情や呼吸でお

互いを感じ合いながら歌えた時間は、本当に幸せなひとときでした。また、La Pura Fuenteでは初の文部科学大臣賞という素晴らしい賞を受賞することができました。日頃よりあたたかい励ましをいただきました合唱連盟の皆様、関係者の皆様心より感謝申し上げます。皆様に楽しんでいただける音楽をお届けできるよう、清泉サウンドに磨きをかけることに団員一同励んでまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします!

La Pura Fuente 下澤歩美



毎年新たにする、「今年こそ全国大会に行きたい!」という思い。手探りで始まった『どんぐりのコマ』の一年目、多大な助力に後押しされて急成長した『Finale』の二年目に、少しずつ団の形が定まってきた『幼少時の回想から受ける靈魂不滅の啓示より X』(現:『自然への喜びの讃歌』)の三年目。コロナ禍でも合唱団の活動を続けようと苦心したりリモートコンクールの四年目を乗り越えて、コンサートホールに帰って来た『先驅者の詩』の五年目……。出来立ての合唱団だったつもりが、気づけば随分と遠くまで来たものです。六年目の挑戦となる今年、『立ちつくす』で全国大会出場なら

びに金賞・特別賞の受賞と、ついに創団以来の大きな目標を達成できました。津での本番はまったく未知の領域で、また最高に楽しく自由な舞台でした。合唱連盟の皆様をはじめ、いつも支えてくださる皆様には感謝が尽きません。地元神奈川で合唱を続ける、相変わらず声も心もまだ若く未熟な私たちを、今後どうぞよろしくお願いいたします。

湘南ユースクワイア練習責任者 板垣大稀

第28回ヴィサン《人生百歳》

ジョイント・コーラスフェスティバル

2022年11月22日(火)に第28回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバルが、10月末にリニューアルオープンしたばかりの横浜みなとみらいホール大ホールにて開催されました。2年以上におよぶ大規模改修工事によって、内装がこれまで以上に明るくなり、入口のドア枠は金色にコーティングされ、館内はすべてLED照明、完全バリアフリー化され、開閉が大変だった大きな扉を自動ドア化するなど、極上の響きは勿論、これまで以上に格調高く“人に優しいホール”となっていました。

未だ収束が見えないコロナ禍での開催、ガイドラインもそれなりに緩和されてきましたが、大所帯の合唱団にはまだまだ人数制限の壁があり、できるだけ多くの方が参加できるように今回も年齢制限をなくし、舞台上は60名まで、直前リハーサルも導入し、何より有観客での開催が実現し、今できる最高の条件で運営することができました。ただ11月に入ってコロナ感染者が急増し、出演辞退の団体が急増する不安がありました。1団体も欠けることなく今回シニア部会全6団体(コーロ・セレーナ、おたまじゃくしの会、JIRA男声合唱団、旭混声合唱団、コール・コサージュ、男声合唱団ひびき)、コ

ンクールで活躍されている団体、県外からも多数エントリーがあり、加盟団体16団体、未非加盟9団体、計25団体456名が参加、各団素晴らしい演奏をご披露くださいました。

中でも今回最も平均年齢の高かった(83歳)男声合唱団ひびき、新老人の会コールバンダナ&コールアミカの年齢を感じさせないエネルギッシュな演奏は圧巻でした。90歳以上の参加者が今回は3団体3名もいらっしや、舞台上で花束を送らせて頂きました。おかあさんコーラス、朝日コンクールで活躍されている団体の演奏、55人の大所帯・圧倒的な音圧で大ホールを響かせた男のコーラズドッグ・ウッド、高津市民合唱団の胸熱くなる演奏、何より杖をつきながら、仲間に支えられながら舞台に立ち、合唱を愛する心をもって歌い上げたシニア合唱団の姿に、おしめない拍手がホールいっぱいに響き渡りました。

今回ヴィサンを盛り上げてくださったすべての参加団体に、心より感謝申し上げます。次回は11月16日(木)、みなとみらいホール大ホールでお待ちしております!!

ヴィサン実行委員長 杉山 範雄



講師 田中登志生 先生 講師 佐藤美紀子 先生

エフォル賞 (講師賞)

- 鎌倉湖畔コーラス
- 男のコーラス・ドッグウッド
- コーロ・しるふれい
- Ensemble Calmo
- しほみコール
- アンサンブル・ピノ
- コール高森
- グリーンフラッシュ
- パウゼ
- 女声合唱団「松」

ヴィサンサング賞 (参加5回)

- ゴールド・フレンズ
- 蒔田コーラス

ヴィサンマイスター賞 (参加25回)

- コーロ・セレーナ
- おたまじゃくしの会



男声合唱団ひびき



実行委員の皆さん



3年ぶりのメサイア公演



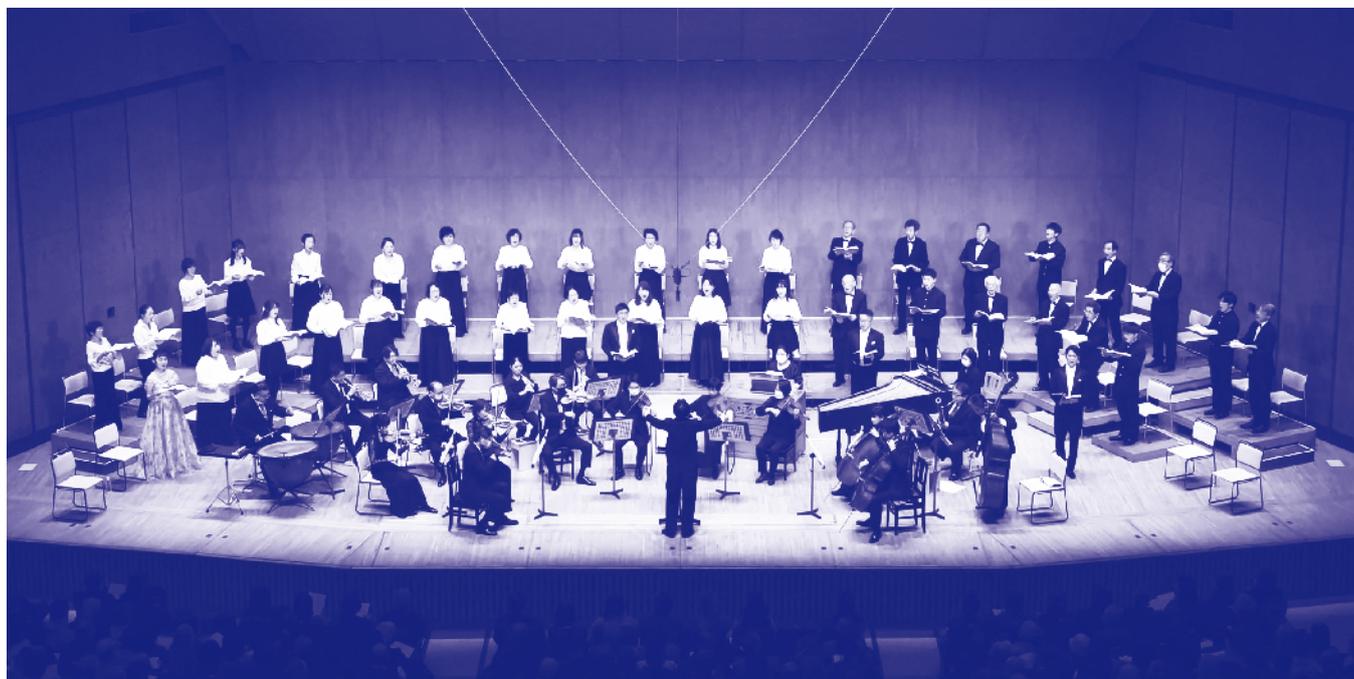
「第55回クリスマス音楽会「メサイア」全曲演奏会」が、3年ぶりに開催されました。指揮者は、長年続いてきた「メサイア」の灯を絶やさないためにと、昨年、合唱講座「メサイアの魅力」を開催した際に講師をつとめられた、大塚直哉先生が担当されました。大塚先生は、チェンバロ奏者で、東京藝術大学教授でもあり、神奈川県民ホール舞台芸術講座の人気講師であります。

今回は、舞台上での歌唱者が36名までとのことで、希望の多かったソプラノは、第1部と第3部を歌う人と、第2部のみを歌う人で、交代して舞台にあがりました。高校生が歌う、未来プロジェクトも復活し、湘南高・多摩高・法政二高が参加しました。少しでも多くのメンバーに体験してほしいという思いから、高校生は各部毎にメンバーを入れ替えて歌いました。合唱メンバーは、大人と高校生合わせて62人でした。

練習ピアニストは、これまでも弾いてこられた山部陽子先生と織田祥代先生が担当され、未来プロジェクトの支援員として、杉山範雄先生と杉山沙織先生にもお世話になりました。

当日は、満席のお客様の前で、音楽堂では合唱連盟として今年度初めてのマスク無し歌唱となりました。そして、公演復活の喜びに満ち溢れた、深く味わいのある豊かな音楽に感動しました。来年はさらに多くの皆さんとメサイアを歌いあげたいものです。

神奈川県合唱連盟理事長 岩本達明



©ヒダキトモコ

指揮：大塚 直哉
 ソプラノ：藤井 冴
 カウンターテナー：上杉 清仁
 テノール：櫻田 亮
 バリトン：加来 徹
 合唱：神奈川県合唱連盟／
 音楽堂「メサイア」未来プロジェクト合唱団
 チェンバロ：長久 真実子
 オルガン：徳田 佑子
 管弦楽：神奈川フィルハーモニー管弦楽団



音楽堂「メサイア」未来プロジェクト合唱団の皆さん

かながわユース・コーラルフェスト2022

12月18日(日)、作曲家信長貴富先生を講師にお招きし「かながわユース・コーラルフェスト2022」を清泉女学院講堂にて開催しました。

今回は中高生17団体、総勢384名が集いました。前半は各校の信長作品の演奏の後、合唱部の特徴に合わせて信長先生が丁寧に講評してくださいました。後半は合同合唱のレッスンで「合唱」を歌いました。この曲は、コロナで活動が制限された時に生まれた作品で、信長先生は、歌詞からコロナに立ち向かう決意を感じ取り作曲されたそうです。レッスンでは、言葉に合わせた表現のアプローチや、転調に生きるテンポ設定など、楽譜に書き切れない繊細な表現を沢山教えていただき、その度に生き生きと歌声が輝き感動の輪が広がりました。

最後に信長先生から、コロナ禍で合唱部で歌っている中高生へ「この先も合唱を続けて欲しいけれど、もしかしたら

他にもやりたいことがある人も思う。だから4月に向けて、新入生のために合唱部という場所を守って欲しい。今は、新入生を迎え入れる準備期間です。少ない人数でも温かい場所がある。どんな場所を提供するのは、皆さん次第です。『合唱って素晴らしいよ』ということ(現代のデジタル社会の中だからこそ)人から人に広めて欲しい。合唱の素晴らしさを周囲に分けて、仲間を増やして欲しい」と優しく温かい励ましと共に指針をいただきました。先生のメッセージの通り、『合唱って素晴らしい』と感じた1日でした。これからの各合唱部の発展と一人ひとりの成長が楽しみです。

信長先生、ありがとうございました。

ユース・コーラルフェスト実行委員 福王寺佑子



講師 信長貴富 先生



リレー
エッセイ
No. 39

指揮者の 『ここだけの話』



指揮者だからこそ味わえる・・・味わってしまうおもしろエピソードを
リレー形式で書いていただく人気のコーナー。今回は**石橋遼太郎**先生です。

高校時代の恩師

合唱指揮者の石橋遼太郎と申します!

同じ千葉県を拠点にする指揮者の黒川和伸さんからバトンを頂戴し、今回は「私と高校時代の恩師」というテーマでお話しさせていただきたいと思います。

私は高校から合唱を始めました。当時の合唱部の顧問の先生は音楽ではなく国語の先生でしたが、先生の指導で合唱をしていくうちに、先生の合唱への並ばならぬ情熱と、指揮者としての魅力に気づいていくこととなりました。

最も象徴的だった出来事は私が高校2年生のころ、先生がNコンの自由曲に立原道造作詩・小林秀雄作曲の「優しき歌」を選曲した時のことです。

立原道造の衝動的な恋心を綴る詩に、壮大なアカペラをのせた昭和の超名曲です。

当時、先生が練習の時にこんなことをおっしゃったのです。「私が学生だった頃、立原道造のこの詩を本屋で手に取りそれを読んで一人涙を流したのです。時間が経ち私は合唱部の顧問となり、この詩で音楽ができることが嬉しい」と。

私はそれを聞き、一つの詩を読んで涙を流すことができる、そんな素敵な感性を持つ先生に音楽を教えていただけることを幸せに感じました。

先生は国語教師らしく、テキストを言葉に乗せて音楽の中にメッセージ作り出すことにおいてとても強いこだわりを持っていたのが印象的でした。

そしてそれから10年ほどの時間が経ち、私もいつの間にか合唱指揮者になっていました。先生と同じ、専門的な音楽の

勉強もしていなかった状態からのスタートでした。

しかし、先生の指導から学んだ「詩へのこだわり」は忘れずに活動してきたつもりです。

そして今年、自分の合唱団でついに「優しき歌」に取り組みました。今度は私が目の前の団員たちにこの詩の素晴らしさを語り、音楽作りをしました。

結果としては、運良く全国大会出場まで至ることができましたが、これは間違いなく先生のおかげだと思っています。

Y先生、ありがとうございます。こんなことが恩返しになるかどうかはわかりませんが、今後も言葉を大切に先生方の音楽を受け継いでいきたいと思っています。



◆◆◆ 次回は森田悠介先生にお願いしました。 ◆◆◆

コンサートガイド

2023年 1/28 (土)	上大岡混声合唱団 第54回定期演奏会 14:00(13:15開場)～ 鎌倉芸術館大ホール 入場料:1,000円(全席自由) お問合せ:事務局(鈴木)080-3471-5002 kamikon1956@gmail.com 指揮:中村 皇 ピアノ:押川 涼子 ソプラノ:櫻井 愛子 ミサ・デウス・ノビスクム、小林 秀雄 優しき歌、J-POP集
2/26 (日)	グロリア少年合唱団 メサイア特別演奏会 17:30(開場17:00)～ 戸塚区民文化センター さくらプラザホール 入場料:3,000円 お問合せ:松村 045-825-0522 例年12月にカトリック雪の下教会で行われているメサイア演奏会、今回は2月に上記会場で開催します。
3/4 (土)	コーロ・ステラ 第9回演奏会 14:00～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料:1,000円 お問合せ:中島 090-1848-5299 corostella1989gmail.com 指揮:清水 昭 ピアノ:服部 真由子 パーカッション:篠崎 智 尾形 敏幸「いのちのわけ」他
3/18 (土)	混声合唱団 横浜コロ・フェニーチェ 第8回演奏会 14:00～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料:1,000円 お問合せ:深澤 046-240-1252 指揮:浅野 深雪 ピアノ:久野 圭子 信長 貴富「かなしみはあたらしい」「心に花を咲かせようII」他
3/30 (木)	県立多摩高等学校合唱部 第57回定期演奏会 18:30～ 麻生市民館 大ホール 入場料:無料 お問合せ:福王寺(部活動顧問) 044-911-7233 OB・OG数十人との合同ステージでは三善 晃作曲「嫁ぐ娘に」を全曲演奏いたします。ぜひお越しください。
4/8 (土)	湘南レグルスエコー 湘南レグルスエコー 7th Concert 14:00～ 茅ヶ崎市民文化会館 小ホール 入場料:1,000円 お問合せ:蒲山恵子 090-6027-4298 指揮:浅野 深雪 ピアノ:小南 雅世 信長 貴富作曲 女声合唱曲集「林檎歌伝」 名田 綾子編曲「イタリア歌めぐり」他 を演奏します。
5/18 (木)	アンサンブル・プラムベリー 第16回ポップス・コーラス・コンサート《ポップス☆ラララ!》 18:30～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料:2,000円 お問合せ:久米田 0467-86-9766 指揮:吉田 孝古麿 ピアノ:宮 怜子 フルート:小林 悦己 パーカッション:篠崎 智 オリジナル編曲全20曲

神奈川県合唱連盟の今後のイベント予定(2023年1月～2023年11月)

- 第25回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト 2023年1月21日(土)・22日(日) 神奈川県立音楽堂
- 第45回神奈川県合唱フェスティバル 2月5日(日) 神奈川県立音楽堂
- 2023こどもコーラス・フェスティバル in 茅ヶ崎 3月25日(土) 茅ヶ崎市民文化会館
(第35回青少年合唱祭全国大会/第41回神奈川県ジュニア合唱祭)
- 第46回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会 4月22日(土) 神奈川県立音楽堂
- 第66回神奈川県合唱祭(4日間) 6月10日(土)・11日(日) 神奈川県立音楽堂
6月24日(土)・25日(日) 神奈川県立音楽堂
- 第66回神奈川県合唱コンクール 8月19日(土)・20日(日) 神奈川県立音楽堂
(第78回関東合唱コンクール神奈川県大会)
- 第29回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバル 11月16日(木) 横浜みなとみらいホール 大ホール

編集後記

コンサートのお知らせが増えました! というわけで編集後記は1行。嬉しい限りです。



神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon カノン」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会
発行責任者 岩本 達明 編集責任者: 青山 道代

神奈川県合唱連盟・事務局
T231-0021 横浜市中区日本大通15 横浜朝日会館4階
TEL: 045-681-6033 FAX: 045-662-5119
スタッフ常駐: 平日: 月火木金(休祝日を除く) 12:00～16:00
URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>
e-mailアドレス kanagawakenren@nifty.com

